

## 病児保育と病後児保育について

稲城市

病児保育とは	病後児保育とは
<p>医師が常駐している、医療機関併設型の実施施設（稲城市では稲城市立病院内「ばんび」のみ）において、未だ「急性期」にある児童を対象とする保育看護事業です。</p> <p>病気の治療中であり集団保育が不可能な場合で、かかりつけ医の判断・指示により医師の在席のもとで看護師・保育士で保育を行います。</p>	<p>病気の「急性期」を過ぎ「回復期」にあるか、症状が軽い児童を対象とした保育事業です。医師が常駐していなくても、かかりつけ医と連携し実施が可能です。</p> <p>病状がある程度安定して「回復期」にあるが、まだ通常の保育園での集団生活を送ることには支障があり、安静・観察を要するとかかりつけ医が判断したもので、医師は不在ですが看護師・保育士で保育を行います。</p>

病児保育利用のケース	病後児保育利用のケース
<p><u>例 1</u> 前日は登園したが、在園時間内に 38℃台の発熱があり途中降園した。今朝も 37.8℃の熱があり。食欲はあまりなく、機嫌も悪い。</p> <p><u>例 2</u> 前夜から嘔吐が始まり今朝まで続いていた。食欲はなく微熱があり、元気がない。水分は少しずつ摂取できる。</p> <p><u>例 3</u> 数日前から、1日5～6回の下痢が続いている。熱はないが、食欲はあまりなく機嫌は悪い。</p>	<p><u>例 1</u> 前日、38℃台の高熱があったが、夜には解熱し始め今朝は平熱になり機嫌も良い。もう一日様子を見た方がよいと思われる。</p> <p><u>例 2</u> 前日嘔吐があったが、夕方から嘔吐は治まりほぼ半日が経っている。少しずつ食事も摂れている。熱はなく、下痢もない。</p> <p><u>例 3</u> 前日、喘息発作があり、吸入・点滴などの処置を受けて症状は落ち着いているが、もう一日安静にして様子を見た方がよいと思われる。</p> <p><u>例 4</u> やけどや骨折の後、症状が安定しているが、集団行動は不可能な状態。</p> <p><u>例 5</u> 肺炎で一週間入院。退院後自宅安静。内科加療を主治医より指示された。</p>

ご不明な点がありましたら、以下の保育施設にお問い合わせください。

- ※ 病児・病後児保育室ばんび 稲城市大丸 1171 TEL042-401-5927  
 稲城市立病院健診・外来棟 2階
- ※ 病後児保育室コロボックル 稲城市東長沼 3107-1PIA TOWN21 2階 TEL042-370-8731